



スーパースーパーグローバル大学創成支援事業

10年間の軌跡





スーパーグローバル大学創成支援事業

10年間の軌跡

法政大学は、2023年までの10年間をかけて、
「世界に開かれた大学」「市民に開かれた大学」「多様な知に開かれた大学」をグローバルポリシーの基本理念に据え、
以下の目標を掲げ、スーパーグローバル大学創成支援事業に取り組んで参りました。

目 標

世界のどこでも生き抜く力をもったグローバル人材の育成
留学生の受入れと派遣の拡大によるキャンパスのグローバル化の実現
教育・研究体制の高度化・グローバル化の推進
卒業生、高校など社会との様々なグローバルネットワークの構築

これらの目標のために総長を本部長とする「グローバル戦略本部」を設置し、
全学が一体となってグローバル化を推進してきた10年間の取組と結果を紹介します。

10年間の取組概要

SGU構想の名称

課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成

SGUの取組を通じて目指す大学の将来像

本学の構想の中心である「サステイナブル社会」は、多くの課題を先行的に体験してきた日本であるからこそ、真摯な研究と教育の対象になり得ている。世界的な規模で多様な研究を本学に集結させ、自然環境のみならず、高度な教育を通じた安定的な就業による社会の持続可能性や、長い歴史と多様な展開をしてきた文化の持続可能性を含め、日本だからこそなし得る「日本発」のサステイナブル教育の確立と発信を通じて、我が国社会のグローバル化を牽引する大学を目指す。

SGU構想の概要

- 世界のどこでも生き抜く力を備えたフロンタランナーを育成する
- 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル社会への発信力を強化する
- サステイナブルなグローバル社会の基礎作りに向けた中等教育機関を支援する
- サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおしを推進する
- グローバル社会の変化に迅速に対応・意思決定できる体制を構築する

法政大学SGU構想概念図

日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化 世代間格差・雇用問題 etc



産業構造の転換 エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行するモデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。
法政大学では「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざす。

5つのキーワード

大規模私大
グローバル化モデル

サステイナブル
社会

課題解決型
フィールドワーク

世界のどこでも
生き抜く力

学生協働の
グローバル展開

法政大学の取り組み

「世界のどこでも生き
抜く力」を備えたフ
ロンタランナーを育成
する教育プログラム

サステイナブルな
グローバル社会の
構築を担う社会人
の学びなおし

サステイナブルな
グローバル社会の
基礎作りに向けた
中等教育支援

「サステイナブル社会」
を構築する人材の集
積とグローバル社会
への発信力の強化

グローバルな社会
の変化に迅速に対
応し意思決定がで
きる体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神でなにごとにも絶
えず挑戦し、新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かなリーダー育成、
最先端を行く高度な研究を推進する

教育と研究を社会に還元、持続可能
な地球社会の構築に貢献する

10年間の主な取組の結果

令和5年度（2023）実績

日本人学生に占める
留学経験者数

»» P6

832人

全学生に占める
外国人留学生数

»» P7

1,554人

学部生のグローバル・
アクティビティ体験率

»» P8

100%

外国語力基準を満たす
学生数

»» P9

12,882人

外国語による
授業科目数

»» P9

805科目

外国語のみで卒業できる
学部・コースの数

»» P10

1学部 5コース

TOEFL等外部試験の
学部入試への活用

»» P10

1,916人

シラバスの
英語化の状況・割合

»» P12

100%

上記実績は、スーパーグローバル大学創成事業の定義に基づき計上されています。そのため、大学案内等の数字と一部異なる場合があります。

スーパーグローバル大学創成支援事業シンポジウムの実績について

2017年3月17日開催

持続可能な地球社会の構築に貢献する人材育成

プログラムの前半では、現在開発が進むベトナムが抱える課題と日越大学間の協働可能性を議論しました。後半では、世界規模で事業展開する企業が求めるグローバル人材像の紹介を受けて、本学の英語学位プログラムや企業が目指すサステナブル社会を担う人材育成の実際と展望をめぐって、意見交換を行いました。



特別講師

Le Viet Dung 教授 (ベトナム カントー大学副学長)
前上 亮子 氏 (曙ブレーキ工業株式会社人事部長、ダイバーシティ推進室室長)

2017年12月2日開催



大学の持続可能な成長は可能か?

持続可能社会の構築はいま多くの大学・研究機関の課題・使命となっていますが、その担い手たる大学・大学教職員が、専門職としての持続可能性を脅かされかねない状況が世界的に広がっています。日本以上に厳しい現実に直面してきたイギリスの経験に学びながら、持続可能な大学・教職員の成長と学習のあり方について議論を深めました。



特別講師

Miriam Zukas 教授 (Birkbeck, University of London, イギリス)

2019年3月1日開催

SDGsと大学教育

プログラム前半では、国連、産業界、大学など、それぞれ異なる立場から「SDGsと大学教育」という視点に軸を置き、事例等の紹介を行いました。後半には各パネリストから紹介のあった事例等を踏まえ、SDGsの意義や問題点、SDGsの観点から大学教育に期待されることについてディスカッションを行いました。



特別講師

根本 おおる 氏 (国連広報センター所長)
宇野 健司 氏 (大和総研調査本部副部長)
古田 元夫 氏 (日越大学学長)

2020年3月9日開催



本シンポジウムの様子は、本学ウェブサイトでもご覧いただけます。



SDGs時代のグローバル人材

「SDGs時代のグローバル人材 SGUとSDGsの融合に向けて」をテーマに、「SDGs時代のグローバル人材」、「グローバル化を目指す大学がSDGsとどう向き合っていくか」について議論を深めました。



前半は特別講師による講演が行われ、SDGsに関する政府の取り組みやグローバル人材にもとめられる3つの要素、私たちの身近にあるSDGsと地方創生等について学びました。

後半では、これからの大学に求められる教育、グローバルに活躍できる人材の育て方等について座談会が行われました。

本シンポジウムを通して、SGUとSDGsが目指す方向性が一致していることを再認識することができました。

特別講師

甲木 浩太郎 氏（内閣府国際平和協力本部事務局参事官）
関 幸子 氏（株式会社ローカルファースト研究所長）

2023年10月22日開催

グローバル人材を超えて

スーパーグローバル大学創成支援事業の終了を迎える今、世界から求められる人材について議論を深め、SGUの成果を発信することを目的に開催しました。カリフォルニア大学教授や特定非営利活動法人の事務局長など、さまざまな業界から5人の講師をお招きし、それぞれの視点からテーマに沿った講演をいただきました。後半は出演者によるパネルディスカッションを行い、今後どのような人材が求められるかなどについて活発な意見交換が行われました。



特別講師

Steven K. Vogel 教授（カリフォルニア大学バークレー校教授）
吉武 博通 氏（学校法人東京家政学院理事長）
木内 真理子 氏（特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長）
鈴木 雅則 氏（株式会社セールスフォース・ジャパン 常務執行役員 人事本部長）
河本 孝志 氏（関西ペイント株式会社 経営企画部長）



グローバル教育センター長による
本シンポジウムの実施報告は
こちらからご覧いただけます。



※特別講師の所属及び肩書はシンポジウム開催当時のもの

日本人学生に占める留学経験者数

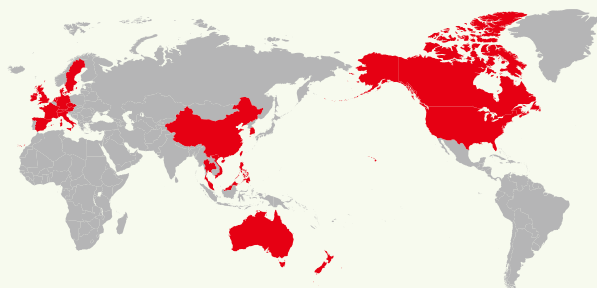
平成25年度（2013）に比べコロナ禍前の
平成30年度（2018）は**5割増**。
留学希望者**全員**が留学できる環境整備。

※一部条件あり

FEATURES

派遣留学制度による留学の場合、70～100万円の奨学金を支給。さらに、派遣先大学の授業料は免除。

▼派遣国（令和5年度）



832人

※コロナ禍から回復途上

775人



平成25年度（2013）
実績

1,057人



平成30年度（2018）
実績



令和5年度（2023）
実績

PROGRAMS

- ◆学部独自の留学（SA）・海外研修制度
- ◆派遣留学制度（協定校留学）
- ◆認定海外留学制度
- ◆短期語学研修制度
- ◆国際ボランティア・国際インターンシッププログラム
- ◆国際キャリア支援プログラム
- ◆ファースト・チャレンジ奨励金

派遣留学生の声

スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 尾島 僚太 さん 留学期間：2022年8月～2023年5月

私はアメリカのジョージ・メイソン大学で、主にスポーツビジネスと経営学について学びました。留学先では、スポーツ産業における経済金融学、スポーツビジネスのデジタルマーケティングとセールスなど、法政大学では学べないような授業を履修することができました。

見知らぬ土地での生活は、想像以上に大変でした。しかし、スポーツを通して新しい友達を作ることができ、たくさんの友達がいたおかげで、アメリカでの生活はより楽しく、充実したものになりました。また、異なるバックグラウンドをもつ友達と多くの時間を過ごすことで、自分自身の視野や価値観も広げることができました。卒業後は世界的なスポーツメーカーで働く予定です。自分が最も情熱を注ぐことができる仕事につけることは嬉しく、これも留学の経験によって得られたものだと思います。アメリカでの素晴らしい経験から、国際的な視野をもち、度胸と柔軟性で困難を乗り越えられる人になりたいです。そして、この業界で活躍できる人になりたいと思っています。

法政大学海外留学ファースト・チャレンジ奨励金 受給者の声

キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科 佐伯 夏渚 さん

学部のSA留学から帰国後、将来は海外で活躍したいという希望を抱き、その夢に向かって少しでも早く行動してイメージを具体化したいという思いから、海外インターンに挑戦し、約3ヶ月間フィリピンのセブ島にある語学学校の運営業務を行いました。英語を身近に感じる機会が多く、言語の壁を越えて意思疎通することの難しさを感じ、物事を順序立てて分かりやすく説明をしたり、相手の考えをリスペクトしながら自分の意見もしっかり主張するなど、自分自身模索しながら様々な学びを得ました。帰国後の現在もこの学びは強く意識するようにしており、またこの場所で得られた人脈や経験は私の大きな財産です。今回留学後のインターンシップということで金銭面での不安があったところ、本奨励金があることで挑戦できたので、とても感謝しています。

全学生に占める外国人留学生数

平成25年度（2013）に比べ**倍増**。

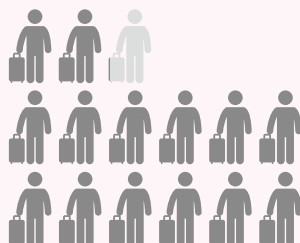
1,554人

669人

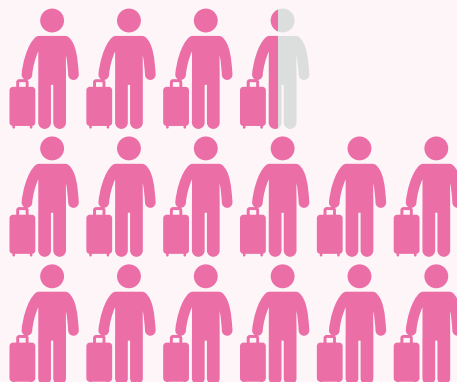


平成25年度（2013）
実績

1,403人

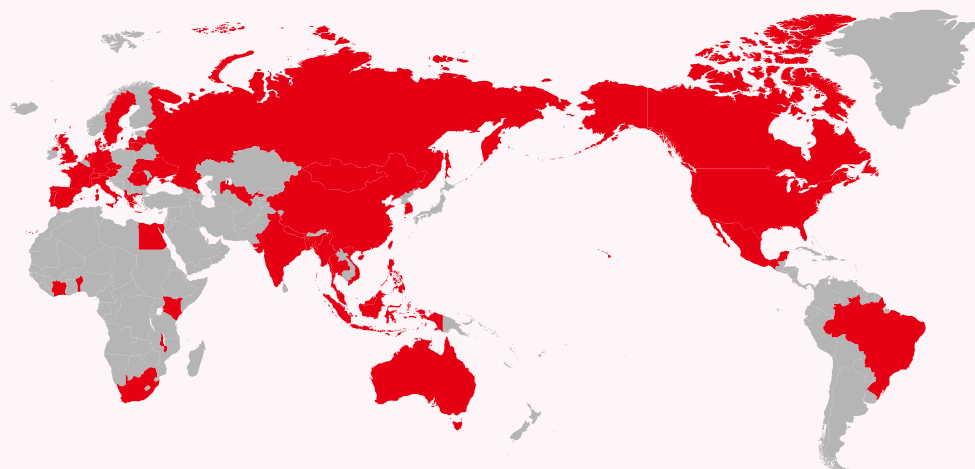


平成30年度（2018）
実績



令和5年度（2023）
実績

▼受入れ国（令和5年度）



TOPICS

◆ 交換留学生受け入れプログラム（ESOP）

本学の海外協定大学から交換留学生及び短期私費留学生を広く受け入れるために開設された講座です。本学学生も受講でき、多くの学部で単位認定もされています。

◆ 英語学位プログラム

全ての授業を英語で行う英語学位プログラムを開設しています。詳細は **06 外国語のみで卒業できる学部・コースの数** をご覧ください。

◆ HUBs（交換留学生サポーター）

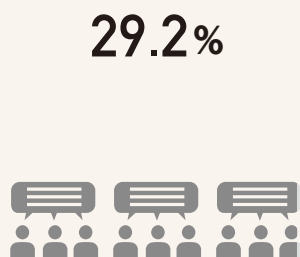
来日して間もない交換留学生とバディを組み、日本での生活のサポートやキャンパスツアーの実施など、様々なサポートを行う活動です。
その他、六大学野球観戦や日本文化体験など、交換留学生が留学中に学内外で参加するさまざまなイベントをサポートし、一緒に参加します。



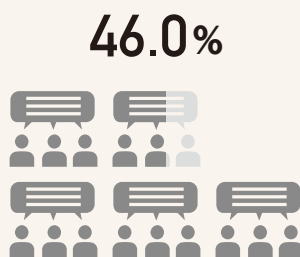
学部生のグローバル・アクティビティ体験率

グローバルアクティビティ（学生の興味、関心を世界に向けた取組）100%達成済み。

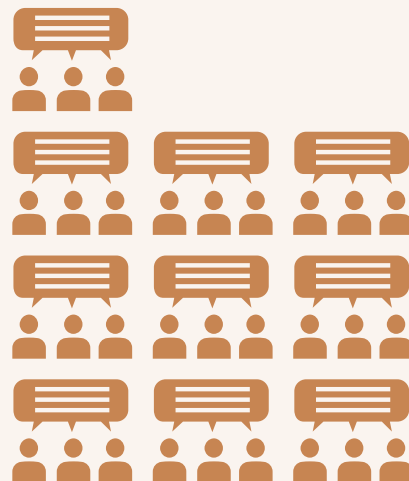
100%



平成25年度（2013）
実績



平成30年度（2018）
実績



令和5年度（2023）
実績

◆ 世界難民の日の取組み

国連の定める「世界難民の日（6/20）」にあわせ、難民支援へ理解を深めるため、さまざまなイベントや企画を行ってきました。例えば、世界にいる難民の置かれている状況やその支援の現場を理解するために、UNHCR（国際連合難民高等弁務官事務所）難民映画祭の大学パートナーズとして、学内で映画上映と関連イベントを開催したり、年に一度開催される「法政グローバルデイ」のイベント内で、NPO法人事務局長をお招きし、世界中の子どもたちが直面している問題とその支援についてご講演いただいたりしました。また、昨今のウクライナの危機的な状況に鑑み、軍事侵攻を逃れ日本へ入国し、学修の継続を希望するウクライナの学生を支援し、本学での学修の機会を提供しています。

◆ 世界人権デー映画上映イベント

世界人権デー（12/10）にあわせ、映画上映イベントを開催しました。2023年度は、コンゴ民主共和国・東部ブカブで、性暴力の被害を受けた女性を20年以上に渡り治療してきた婦人科医、デニ・ムクウェゲを取り上げた「ムクウェゲ「女性にとって世界最悪の場所」で闘う医師」を上映し、その後、本学人間環境学部佐伯英子准教授による映画に関するトークイベントを実施し、人権だけでなく社会問題・国際問題について深く考えられる場となりました。

◆ マレーシアで「国際白杖の日」イベントを共同企画

2022年10月にマレーシアの首都クアラルンプールで行われた「国際白杖の日」イベントに、本学現代福祉学部佐野竜平ゼミとスポーツ健康学部吉田政幸ゼミの学生・教員が、連携パートナーとして参加しました。イベントでは、白杖を持った視覚障害者100人に加え、ボランティア、政府関係者や民間企業関係者を含め総勢250人が白杖について語り合いながら2kmのウォークを行いました。両ゼミの学生がこうした国際企画に関わることで、障害インクルーシブなスポーツを通じた社会づくりの一助を担えるのではと期待しています。

◆ ウクライナ学生主催イベント

ウクライナから受け入れた学生を中心に、ウクライナについて深く知り考えるイベントを複数回にわたって実施してきました。ウクライナの地理・歴史・文化についてプレゼンテーションを聞き、フリートークでは教育制度やお祭り、食文化についてなど、参加者から続々と質問が寄せられ、知識をより深めることができました。

04

外国語力基準を満たす学生数

法政大学が定める外国語力基準を満たす学生数は、平成25年度（2013）に比べ5.6倍。

12,882人

2,217人

6,723人



平成25年度（2013）実績



平成30年度（2018）実績



令和5年度（2023）実績

事例イメージ

経営学部 経営戦略学科

Aさん

基礎的な英語力はあるので、経営戦略を専門に学ぶとともに、高度な英語力を身に付け、国際機関で働きたい。



国際機関へ就職・活躍



海外大学院

4年次

専門知識を修得
グローバル社会で生きる力を修得

3年次

学際知識を修得
海外留学でさらにスキルアップ

2年次

英語による授業で
語学力と異文化理解力を養成

1年次

ERP（英語強化プログラム）で
語学力を強化

05

外国語による授業科目数

語学の授業を除き、外国語で実施される授業を多数用意しています。

科目例

- ◆ Global Business Strategy
- ◆ Religion and Society
- ◆ Gender and Japanese Culture
- ◆ Environment Science
- ◆ Brand Management
- ◆ Information Technology
- ◆ Natural Science
- ◆ English Presentation

805科目

541科目

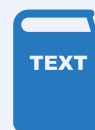


平成25年度（2013）実績

734科目



平成30年度（2018）実績



令和5年度（2023）実績

外国語のみで卒業できる学部・コースの数

15学部14研究科2専門職大学院の教育課程の特徴や市ヶ谷、多摩、小金井に3つの個性的なキャンパス立地を最大限に活かし、特色のある英語による学位コースを提供している。

FEATURES

- ①全ての授業が英語で実施
- ②充実した日本語学習環境
- ③少人数制授業

1学部

◆ Global and Interdisciplinary Studies (GIS) 2008年設置

3学部コース

- ◆ Global Business Program (GBP) 2016年設置
- ◆ Sustainability Co-Creation Programme (SCOPE) 2016年設置
- ◆ Institute for Global Economics and Social Science (IGESS) 2018年設置

2大学院コース

- ◆ Global MBA Program 2015年設置
- ◆ Institute of Integrated Science and Technology (IIST) 2016年設置

1学部

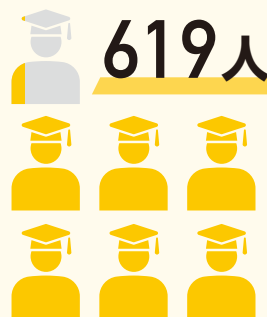
244人



平成25年度 (2013)



令和5年度 (2023)



619人

TOEFL等外部試験の学部入試への活用

対象定員数は、平成25年度に比べ2.2倍。

全15学部において外部試験のスコアを利用して受験可能。

1,916人

845人



平成25年度 (2013)
実績

1,653人



平成30年度 (2018)
実績



令和5年度 (2023)
実績

08 教職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した割合

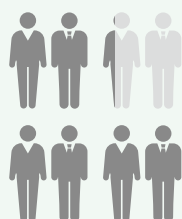
平成25年度（2013）に比べ**3割増**。

ダイバーシティを一層推し進め、性別、国籍、年齢などにかかわらず、教職員の活躍の場が広がり、それぞれの能力が飛躍する大学を実現。

FEATURES

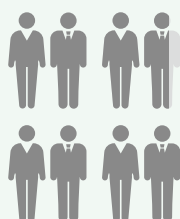
海外研究者との共同研究や海外の若手研究者育成も積極的に行っています。例えば、法政大学国際交流基金による外国人招聘研究員（HIF招聘研究員）招聘制度では、毎年3名の若手研究者に本学での研究の機会を提供しています。その研究成果は本学にも還元され、本学の学術研究の発展にも繋がっています。

315人(23%)

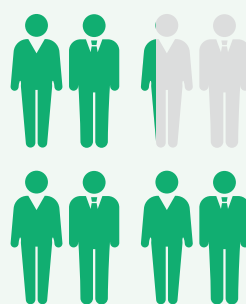


平成25年度（2013）
実績

385人(28%)



平成30年度（2018）
実績



令和5年度（2023）
実績

413人
(29%)

09 事務職員の高度化への取組

外国語力基準を満たす事務職員数は、平成25年度に比べ2.5倍。

外国語力基準

- ◆ TOEIC®のスコア730以上
- ◆ ドイツ語技能検定2級以上
- ◆ 韓国語能力試験2級以上
- ◆ 実用フランス語技能検定2級以上
- ◆ 実用英語技能検定2級以上
- ◆ 中国語検定2級以上

67人



平成25年度（2013）
実績

127人



平成30年度（2018）
実績

167人



令和5年度（2023）
実績

10

シラバスの英語化の状況・割合

平成25年度に比べ**14倍**。**100%達成済み**。

959科目



平成25年度（2013）
実績

1,713科目



平成30年度（2018）
実績

13,981科目



令和5年度（2023）
実績

11

教員に占める女性の比率

平成25年度（2013）に比べ**35%増**。「男女共同参画」の**実現**は「ダイバーシティ推進」の目標に近づくために不可欠であり、最終的には大学の全ての構成員にとって、活気に満ちた、革新的で、生命力あふれる教育・研究・就業の場を作る。

136人(18.2%)



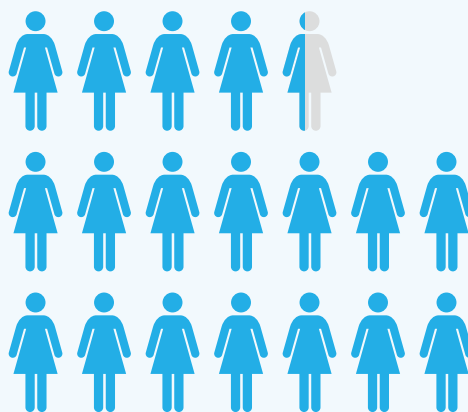
平成25年度（2013）
実績

159人(21.2%)



平成30年度（2018）
実績

184人(23.9%)



令和5年度（2023）
実績

12

職員に占める女性の比率

平成25年度に比べ**45人増**。「男女共同参画」の**実現**は「ダイバーシティ推進」の目標に近づくために不可欠であり、最終的には大学の全ての構成員にとって、活気に満ちた、革新的で、生命力あふれる教育・研究・就業の場を作る。

332人(57%)



平成25年度（2013）
実績

359人(58%)



平成30年度（2018）
実績

377人(58%)



令和5年度（2023）
実績

SDGsに関する取り組み

法政大学のスーパーグローバル大学創成支援事業の構想名は、「課題解決先進国日本から持続可能な社会を構想するグローバル大学の創成」になります。そのため、「持続可能な社会」と密接な関係を持つ「SDGs」に関する授業の開講や研究だけでなく、他大学や自治体、企業とも連携することで、学生の学びの深化や実践力の養成に繋がっています。

研究×SDGs

SDGs達成に貢献する研究を推進し、社会に発信する。

研究関連の主なSDGs目標



●アジアの障害インクルーシブな国際協力・開発に関する研究

幼少時の事故をきっかけに、「障害」と向き合っています。近年でこそダイバーシティ（多様性）やインクルージョン（包摂）などが謳われますが、以前はいわゆる「右倣え右」、すでに答えがあるものを記憶することが学びの中心でした。大学生の時にアジア各地の障害者・関係団体と交流したことで、弱い自分を少しずつ克服していきました。そこは「多様性」を敢えて標榜せずとも多様であり、自分が自分のままでいいのだと思えた空間でした。

障害インクルーシブな研究を進める際、障害のある当事者ならではの視点や経験に基づく、言語化がなかなか難しい暗黙知の蓄積を念頭に置いています。そこは真にユニークさや斬新さに溢れた世界で、学生にも共有したいところです。具体的には、アジアを中心とした国際的な見地から、障害インクルーシブな労働・雇用の広がり（SDGs目標8）、障害種別など社会課題から見た格差の解消（SDGs目標10）、

障害者の参画による国際的な循環型人材・商品＆サービスの確立（SDGs目標12）などを研究の軸にしています。SDGsはまさに政策や実践に関する研究の切り口になっています。

情報過多社会はますます肥大しています。今流行りの生成AIに「アジアの障害分野の課題を解決するには？」と聞いたところで、そこに本質はありません。多様性溢れるアジアの障害分野が研究対象だからこそ、日本での実践にも精通する必要があります。本学学生および国内外の関係者と共に、粘り強く研究を進めていこうと考えています。

社会貢献×SDGs

社会との接続を強化し、誰一人取り残さない社会を構築する。

●SDGsに関連するセミナー等の実施

法政大学では、「leave no one behind」の理念に基づき、誰もが無償で受けられる（参加できる）プログラムを実施しています。2022年度は、「SDGs×就活・キャリア」をテーマにしたシンポジウムや、セミナー、連続講座などを実施しました。また、SDGs WEEKsの期間中は、カーボンニュートラルを学ぶことができる動画コンテンツとして「カーボンニュートラルミニ講座」を複数制作し、YouTube上で配信しました。右記のQRコードから、誰でも講座を見て学ぶことができます。



●SDGsを軸とした高大連携事業

法政大学では、早期のSDGs教育および大学生と高校生の世代を越えた学び合いによる新たな刺激・発見を目的に、SDGsを軸とした高大連携プログラムを展開しています。2022年度は「STARTプログラム」を実施。「STARTプログラム」とは、SDGsで先進的な取組をしている自治体・企業等からゲストスピーカーを招き、講演ならびに学生とのディスカッションを行うことを通して、SDGsを学び、実際のアクション（行動）に繋げるための思考を学ぶ正課外教育プログラムとして2021年度から開始していた「法政大学SDGs実践知ゼミナール」の発展プログラムです。本学をはじめ、関西大学や明治大学、さらには本学とSDGs連携をしている高校の生徒などが参加し、大学生68名・高校生29名が混合でワークを行いました。高校生の斬新なアイデアと大学生の専門知識が混ざり合うことで、受講者にとってとても深い学びとなりました。



SDGsに関する取り組みの詳細についてはこちらをご覧ください



法政大学のグローバル化はこれからも続けていきます。

